



【研究主題】

(3年次[最終年次])

自律した学習者を育てるⅡ

—子どもと教師でつくる「学びのものさし」—

提案授業を通していま学校が抱えている様々な教育課題を共に考えてみませんか

- # 生活のドラマと学びのドラマを紡いで授業をつくる**教師の資質向上**
- # **若手教員**の育成に資する**校内研修デザイン**
- # **多様性理解**につながる授業づくり
- # 生活科・総合的な学習の時間を軸とした**カリキュラム・マネジメント**
- # **ICT**を活用した個別最適で協働的な学び

開催期日 令和6年**10月4日(金)**・**12月2日(月)**

公開研究協議会 I 10 / 4 (金)

8:00 8:25 8:30 9:05 9:20 10:05 10:25 11:10 12:20 14:10 14:30 16:00

受付	移動	(研究説明・諸連絡) 全体会	移動	提案授業 I	移動	提案授業 II	昼食・休憩	各教科等別 授業協議会	移動	講演・講評
----	----	-------------------	----	--------	----	---------	-------	----------------	----	-------

講師 鹿毛 雅治氏
慶應義塾大学教職課程センター教授

演題

「自律した学習者を育む」

提案授業 I

(9:20 ~ 10:05)

教科等	単元・題材名	授業者	授業アピール
1年 国語	オリジナルじどう車カードゲームであそぼう〜じどう車くらべ〜	工藤 優花	本文の内容を基に、お気に入りの自動車を選んで作ったカードで遊ぶ活動を通して、「しごと」と「つくり」の関係について考える子どもの姿を目指します。
2年 生活	おいしいお米づくりたい part3 〜きらきら収穫祭を開こう〜	丹 理人	育ててきた米の収穫を祝う祭りをつくる活動を通して、生命の尊さや人との関わりについての気づきを深めていく子どもの姿を目指します。
3年 外国語活動	ALPHABET たんけん隊!	山崎 麻絵	アルファベットの音と形を一致させる活動を通して、文字を使って伝え合うことを面白がる子どもの姿を目指します。
4年 総合	きらり みんなの笑顔あふれるまちII 〜みんなが笑顔になるためによりよいかかわり合いを求めて〜	井上 駿太	ハワイの児童や地域に住む留学生との交流を通して、自分と異なる文化を知り、受け入れるためにどうするべきか、自分なりの考えを見いだす姿を目指します。

提案授業 II

(10:25 ~ 11:10)

教科等	単元・題材名	授業者	授業アピール
5年 社会	「食料問題解決ゲーム」をつくらう! 〜これからの食料生産とわたしたち〜	石田 智之	食料生産を取り巻く環境に子どもが目を向け、ゲームづくりを通して食料問題を主体的に考えていく、ゲーミフィケーションを取り入れた単元構成を提案します。
5年 音楽	民ようお国めぐり 〜秋田の民よう〜	大山 光子	本物に触れ、民謡独特の発声を繰り返し試すことで、秋田民謡の魅力を味わう子どもの姿を目指します。
6年 総合	150周年のベストメモリー	山田 幹 猿田千穂子 柴田 省吾 小室 真紀	創立150周年を記念して、映画制作やものづくり、イベント企画などに取り組んでいます。思いの実現に向けて試行錯誤しながら探究し続ける子どもの姿を目指します。
3年 特別活動	だれとでも協力し合える集会をしよう	中田 貴広	学習者用端末を用いて互いの意見やそれを支える理由を事前に共有することで、多様にある意見それぞれのよさを生かして折り合いを付け合意形成を図る子どもの姿を目指します。

授業協議会

(12:20 ~ 14:10)

教科等	実践研究チームによるワークショップの内容	研究協力者	教材分析協力者	助言者
国語	説明的文章の論理を読み取るための言語活動を体験するワークショップ	成田 雅樹 高橋 菜由	岡 英里奈	中央教育事務所 利出張所 熊谷亜希子
社会	「食料問題解決ゲームづくり」を追体験することで、子どもが日本の食料生産の課題や解決への取組にどのように目を向けるかということを考えるワークショップ	外池 智		中央教育事務所 齊藤 一生
生活	米の収穫を祝う祭りをつくる過程を研究協力者の解説により体験しながら、気づきの質を高める授業づくりについて考えるワークショップ	中野 良樹	長瀬 達也	中央教育事務所 石井 和史
音楽	民謡独特の発声と声楽的な発声を比較しながら体験することで、音楽観や指導観を広げていくことを目指すワークショップ	吉澤 恭子 川辺 茜		中央教育事務所 澤木美穂子
外国語活動	子どもが新しい言語を学ぶとき、音声と文字と意味を結び付けて認識する過程を、絵本を使って体験するワークショップ	佐々木 雅子		中央教育事務所 相馬真紀子
総合	授業者と研究協力者との対話型リフレクションを通して、子どもの見取りを深めていくワークショップ	細川 和仁		中央教育事務所 利出張所 安保 朋子
特別活動	話し合い活動の一連の活動を追体験し、他者の考えや思いを共有しそのよさを伝え合う方法を考えるワークショップ	佐藤 修司		中央教育事務所 利出張所 齊藤 智行



公開研究協議会Ⅱ 12/2(月)

8:00 8:25 8:30 9:05 9:20 10:05 10:25 11:10 12:20 14:10 14:30 16:00

受付	移動	(研究説明・諸連絡) 全体会	移動	提案授業Ⅰ	移動	提案授業Ⅱ	昼食・休憩	授業協議会 各教科等別	移動	講評 パネルディスカッション
----	----	-------------------	----	-------	----	-------	-------	----------------	----	-------------------

ファシリテーター 鹿毛 雅治氏
慶應義塾大学教職課程センター教授

テーマ
「自律した学習者を育てる
授業デザイン」

本校教員が、テーマについてそのおもしろさや悩みを鹿毛先生と対話し、授業づくりについて理解を深めます。

提案授業Ⅰ (9:20～10:05)

教科等	単元・題材名	授業者	授業アピール
6年 国語	書きたい世界が広がる「作家の時間」	小室 真紀	書く内容も文種も書くペースも自分で決めることができる「作家の時間」。書くことで考え、考えながら書く中での創造性をゆるやかに育みます。
2年 算数	1を分けて～分けた大きさの表し方は？～	井谷 紀子	身近な具体物を操作する活動を通して、分数のよさに気付き生活に生かそうとする子どもの姿を目指します。
1年 図工	ふしぎなせかいでみつけたよ～くもにのって～	三浦 茉莉	「雲に乗って旅をする自分」という世界に浸る中で、表したいことを見付け、発想を広げていく子どもの姿を目指します。

提案授業Ⅱ (10:25～11:10)

教科等	単元・題材名	授業者	授業アピール
6年 理科	てこの規則性 てこのはたらきとしくみ	柴田 省吾	てこの規則性に着目して、生活に役立てる方法やどのように生かされているのかを考える子どもの姿を目指します。
3年 体育	跳び箱運動～ビヨーンと跳んで、ピタッと着地！みんなで目指せ金メダル！！	佐々木駿斗	それぞれの「金メダル」に向かって自分たちで見つけた動きのこつを選んだり試したりすることを通して、跳び箱運動の技を高める子どもの姿を目指します。
4年 外国語活動	Let's go to the world! - What do you want? -	佐々木絵理子	欲しいものを手にするために、気持ちを伝え合う活動を通して、これまでに慣れ親しんできた英語を駆使して楽しみながら伝えようとする子どもの姿を目指します。
5年 総合	きらり みんなの笑顔あふれるまちⅢ ～働くてどんなこと？～	稲垣 勇介	職業に就いて働くことをテーマに構想した自分の生き方について交流し、自他の考えのずれに着目しながら、「働く」ことについての考えを豊かにしていく姿を目指します。

授業協議会 (12:20～14:10)

教科等	実践研究チームによるワークショップの内容	研究協力者	教材分析協力者	助言者
国語	写真に文章をつけてみる－多様な姿とその理由を考えるワークショップ	成田 雅樹 高橋 菜由	岡 英里奈	中央教育事務所 佐藤 高行
算数	子どもの姿から、分数をどのように捉えているか考えることを通して、分数の意味の多義性とその系統を整理し、課題と解決策を明らかにするワークショップ	佐藤 学 加藤 慎一		中央教育事務所 石井 和史
理科	指導目標を達成するためにてこの規則性（モーメント）について再確認し、内容理解を深めるワークショップ	田口 瑞穂	石井 宏一	中央教育事務所 熊井 修一
図画工作	クレヨンやパスの表現を追体験することで、表現を工夫していく子どもを支える見直しをもつワークショップ	長瀬 達也		中央教育事務所 由利出張所 安保 朋子
体育	実践研究チームの単元を通した子どもの姿の見取りを基に、跳び箱運動の指導方法を検討するワークショップ	松本 奈緒	三戸 範之	中央教育事務所 久米 美樹
外国語活動	私たちの実践・授業づくりのアイデアや経験を結果し、「明日からの授業がもっと楽しくなる」技を体験するワークショップ	佐々木雅子	細川 和仁	中央教育事務所 相馬真紀子
総合	「働く」ということについて話し合う活動を追体験することで、子どもの立場に立って概念形成をするワークショップ	細川 和仁		中央教育事務所 澤木美穂子





講師 鹿毛 雅治氏 慶應義塾大学教職課程センター教授

【専門分野】 教育心理学 教育方法論 教師教育

【主な著書】 『授業という営み—子どもとともに「主体的に学ぶ場」を創る』(教育出版)
『授業研究を創る—教師が学びあう学校を実現するために』(教育出版)
『子どもの姿に学ぶ教師—「学ぶ意欲」と「教育的瞬間」』(教育出版)

会場までの交通機関のご案内



〈秋田駅から〉

●バス利用 15分程度

・神田旭野線⑧(天徳寺、卸売市場旭野団地行き)

・添川線⑧

バス停/保戸野八丁下車

●タクシー利用 10分程度

〈秋田空港から〉

●バス・タクシー利用 60分程度



申し込みについて

■申し込み

①公開研究協議会 I 10 / 4 (金)

- 令和6年9月26日(木)まで、本校ホームページ専用フォームからお申し込みください。
- 資料は9月27日(金)までに本校ホームページに掲載いたします。事前にお申し込みいただいた方には、申込時に入力いただいたメールアドレス宛にお知らせします。資料をダウンロードの上、ご参加ください。
- 9月30日(月)までにメールが届かない場合は、suzuki@aes.akita-u.ac.jpにご連絡ください。
- 当日の申し込みも対応いたします。直接本校にお出でになり、受付にてお申し込みください。なお、紙媒体での資料はお渡しできませんので、事前にダウンロードの上、ご参加ください。
- 秋田大学教育文化学部所属する学生・院生は、総合学務課を通してお申し込みください。

②公開研究協議会 II 12 / 2 (月)

- 令和6年11月22日(金)まで、本校ホームページ専用フォームからお申し込みください。
- 資料は11月25日(月)までに本校ホームページに掲載いたします。事前にお申し込みいただいた方には、申込時に入力いただいたメールアドレス宛にお知らせします。資料をダウンロードの上、ご参加ください。
- 11月26日(火)までにメールが届かない場合は、suzuki@aes.akita-u.ac.jpにご連絡ください。
- 当日の申し込みも対応いたします。直接本校にお出でになり、受付にてお申し込みください。なお、紙媒体での資料はお渡しできませんので、事前にダウンロードの上、ご参加ください。
- 秋田大学教育文化学部所属する学生・院生は、総合学務課を通してお申し込みください。

■会費 無料

■その他

- 上履きは各自ご持参ください。
- 昼食販売はいたしません。
- 駐車場を準備いたします。ご希望の方は参加申し込みの際と一緒に申し込みください。乗り合わせてご来校いただければ幸いです。
- 写真撮影、ビデオ撮影等はできません。
(ただし、授業者の承諾がある場合、授業終了後に限り、板書や掲示物等の撮影は可能です。)

●問い合わせ先 秋田大学教育文化学部附属小学校

住所/秋田市保戸野原の町13番1号 研究委員長 鈴木 聡 電話/018-862-2593 FAX/018-862-2598
e-mail: suzuki@aes.akita-u.ac.jp / ホームページ http://www.aes.akita-u.ac.jp